

ユーザー端末から Web サービスまでの通信品質の可視化ソリューションをサブスク、低価格で提供



2026年4月1日より提供開始

アイビーシー株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長COO小田 成、以下IBC)は、ユーザー端末からアクセス先Webサービスまでの通信品質をユーザー視点で可視化するソリューション「HIMOTOKI(ヒモトキ)」を、2026年4月1日よりサブスクリプションサービスとして提供開始いたします。

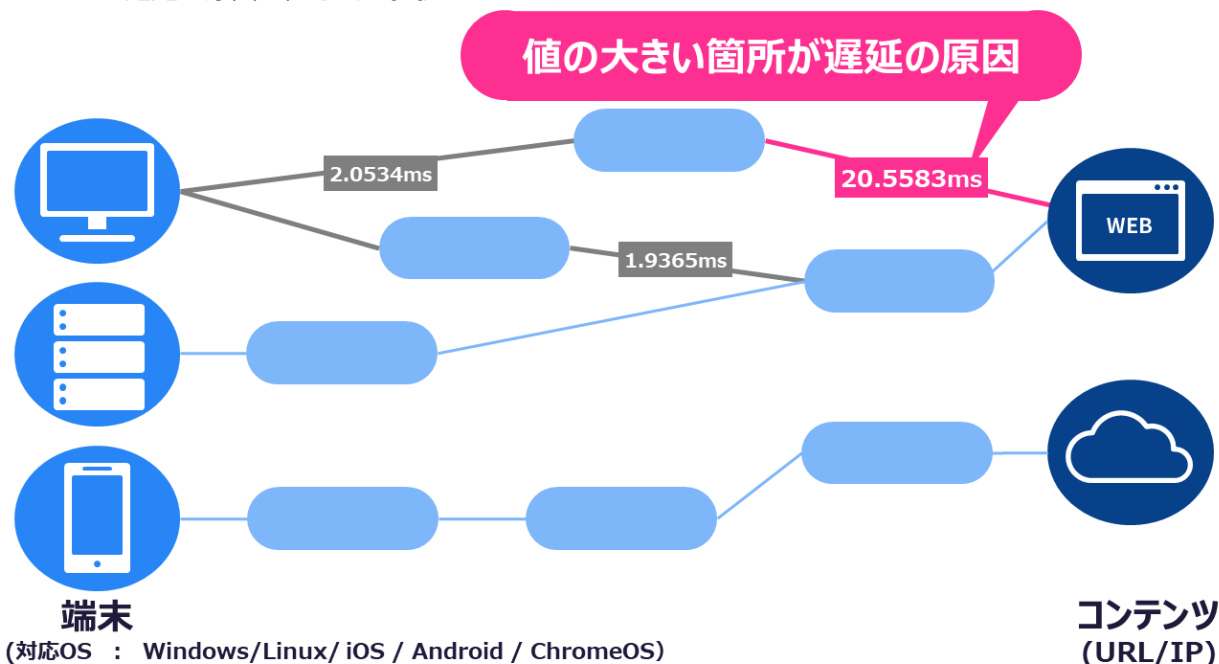
■昨今の IT インフラ事情と HIMOTOKI 提供の背景

近年、業務システムはクラウドやネットワーク、外部 SaaS など複数の要素が連携して構成されているため、どこか一部に問題が起きるだけで、ユーザーは「システム全体が遅い」「使えない」という状態になり、業務に影響が生じやすくなっています。また、従来の監視ではどこに問題があるのかすぐに気づくことができず、対処する IT 部門はサーバ、ネットワーク、クラウドなど複数の要素から、どこが原因かを後追いで探し出すことになることから、ユーザーの体感とのギャップが生じるケースもあります。HIMOTOKI は、「ユーザーが操作してからアクセス先の Web ページが表示されるまで」の一連の流れをユーザー視点で可視化し、原因の特定と迅速な対応を可能にします。ユーザー視点の監視ニーズが高まる中、当社は低価格で気軽に導入できるサービスとして、通信品質の可視化ができる HIMOTOKI をリリースしました。

■HIMOTOKI の主な機能と効果

①通信経路の可視化(ネットワークパス機能)

端末からアクセス先のサービスまで、通信がどの経路を通り、どこで時間がかかっているのかを分かりやすく可視化します。通信経路上の各区分について、応答時間や通信品質(パケットロス、ジッターなど)を確認でき、問題が発生している箇所は色分け表示されるため、遅延の原因を直感的に把握できます。



②無線 WiFi 電波の測定(無線受信情報モニタリング)

Windows 端末の WiFi 受信状況をリアルタイムで可視化できます。端末がどのアクセスポイントに接続しているか、どれくらいの電波強度を確認可能です。電波不足や意図しないアクセスポイントへの接続などを特定し、「WiFi が遅い・不安定」といったユーザーの声に対し、迅速に原因を切り分けることが可能です。



③Web 画面表示までの時間測定(ページロード機能)

指定した Web ページを表示するまでにどれくらい時間がかかっているのかを URL/コンテンツごとに分解して可視化。端末環境から実行することでユーザーの体感値をそのまま数値化可能なため、早期原因特定につながります。

※本機能は、Windows OS または Linux OS を搭載したパソコンやサーバーでご利用いただけます。



■HIMOTOKI 導入による企業価値向上へ

HIMOTOKI は、「業務として使える IT」を定量的に把握し、説明し、改善できる企業体制の構築を可能にします。これにより、業務生産性の向上、IT 投資の効率化、部門間の信頼醸成を通じて、企業価値の持続的な向上に貢献します。

■提供情報

- サービス名:HIMOTOKI(ヒモトキ)
- 提供開始日:2026 年 4 月 1 日
- 提供価格:月額 50,000 円(税抜)~
- 提供形態:SaaS(クラウドサービス)
- 製品 URL:<https://system-answer.com/product/himotoki/>

<企業情報>

【アイビーシーについて】

IBC は、2002 年の設立以来、性能監視分野に特化した事業を展開しており、IT システムの稼働状況や障害発生の予兆などを把握する IT システム性能監視ツールの開発・販売およびコンサルティングを手掛けています。

社 名:アイビーシー株式会社

本 社:〒104-0033 東京都中央区新川 1 丁目 8 番 8 号 アクロス新川ビル 8F

代 表 者:代表取締役社長 小田 成

設 立:2002 年 10 月

事業内容:IT システム性能監視ツールの開発/販売/サポート

IT システムの性能評価サービス

IT システムの設計・構築、コンサルティング

その他各種機器、ソフトウェアの販売

<本件に関するお問い合わせ>

電話:03-5117-2780 E-mail:info@ibc21.co.jp 担当:デジタルマーケティング部 鈴木・村田

※本プレスリリースに記載されている社名、サービス名などは、各社の商標あるいは登録商標です。